

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年7月26日(2018.7.26)

【公開番号】特開2017-645(P2017-645A)

【公開日】平成29年1月5日(2017.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-001

【出願番号】特願2015-120709(P2015-120709)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/008 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/008 1 1 0

A 6 1 F 9/008 1 2 0

A 6 1 F 9/008 1 2 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月12日(2018.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者眼の患部に治療レーザ光を照射するレーザ治療装置であって、
前記患者眼の観察部位に照明光を投光する照明手段と、
前記観察部位の観察像を呈示する呈示手段と、
前記呈示手段が呈示する前記観察像上に、前記治療レーザ光の照射条件に関するパラメータを表示する表示手段と、
を備え、
前記表示手段は、前記照明手段によって照明される前記観察部位の照明領域を考慮して、
前記観察像上に表示する前記パラメータの表示位置を決定することを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のレーザ治療装置であって、
前記照明手段は、前記観察部位と共役な位置に開口部および遮光部を有する照野絞りを備えると共に、前記観察部位に前記開口部の像および前記遮光部の像を形成し、
前記表示手段は、前記観察像の領域内のうち前記遮光部による遮光領域上に前記パラメータを表示する、
ことを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載のレーザ治療装置であって、
前記パラメータは、種類が異なる複数のパラメータを含み、
前記表示手段は、前記照明領域の形状を考慮して、前記複数のパラメータの一部を、他のパラメータを表示させる位置から離間した位置に表示する、
ことを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のレーザ治療装置であって、
前記照明手段による前記照明領域を調節するための調節手段と、
前記調節手段によって調節される前記照明領域を検知する領域検知部とを備え、

前記表示手段は、前記領域検知部によって検知された前記照明領域に基づいて前記観察像上に表示する前記パラメータの表示位置を決定する、
ことを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 5】

請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載のレーザ治療装置であって、
前記呈示手段は、前記観察部位を変倍して前記観察像を形成する変倍手段を備え、
前記表示手段は、前記変倍手段の変倍量を検知して、前記変倍量に基づいて前記パラメータの表示位置を決定する、
ことを特徴とするレーザ治療装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

患者眼の患部に治療レーザ光を照射するレーザ治療装置であって、前記患者眼の観察部位に照明光を投光する照明手段と、前記観察部位の観察像を呈示する呈示手段と、前記呈示手段が呈示する前記観察像上に、前記治療レーザ光の照射条件に関するパラメータを表示する表示手段と、を備え、前記表示手段は、前記照明手段によって照明される前記観察部位の照明領域を考慮して、前記観察像上に表示する前記パラメータの表示位置を決定することを特徴とするレーザ治療装置。